



## 2020年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月4日

上場会社名 三協立山株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5932 URL https://www.st-grp.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員(氏名) 山下 清胤  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 吉田 安徳 (TEL) 0766-20-2122  
 四半期報告書提出予定日 2019年10月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年5月期第1四半期の連結業績(2019年6月1日~2019年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	75,066	△5.4	△437	—	△517	—	△1,649	—
2019年5月期第1四半期	79,339	4.9	△666	—	△523	—	△750	—

(注) 包括利益 2020年5月期第1四半期 △1,751百万円(—%) 2019年5月期第1四半期 △839百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	△52.59	—
2019年5月期第1四半期	△23.93	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第1四半期	262,570	80,169	29.4
2019年5月期	262,426	82,087	30.2

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 77,182百万円 2019年5月期 79,126百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	10.00	—	5.00	15.00
2020年5月期	—	—	—	—	—
2020年5月期(予想)	—	10.00	—	5.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日~2020年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	167,000	△1.8	2,900	138.5	2,800	93.7	1,200	446.8	38.25
通期	338,000	0.1	4,000	441.9	3,700	500.6	1,400	—	44.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期1Q	31,554,629株	2019年5月期	31,554,629株
② 期末自己株式数	2020年5月期1Q	184,111株	2019年5月期	182,884株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期1Q	31,371,073株	2019年5月期1Q	31,377,072株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題、欧州においてドイツの景気の弱さが目立つなど減速感が強まりました。その中でわが国の経済は、個人消費は底堅いものの、製造業における設備投資が低迷しました。

当社を取り巻く市場環境は、建材事業では新設住宅着工戸数のうち、持家は前年同期比で増加となりましたが、貸家の減少が大きく、全体では減少となりました。マテリアル事業ではアルミニウム型材市場において一般機械分野の需要減少が継続しました。商業施設事業では店舗の建築着工棟数減少が継続しました。国際事業では欧州での自動車販売数が減少しました。

このような環境下、当社は将来の市場構造変化に対応する事業ポートフォリオの構築に向け、基本方針を『変革と価値創造～安定かつ成長可能な事業構造へ～』とする2019年5月期から2021年5月期までの中期経営計画を推進し、「収益改善」「成長事業、グローバルシナジーの拡大」「次なる事業領域の開拓」に向けた諸施策の展開を進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高750億66百万円（前年同期比5.4%減）、営業損失4億37百万円（前年同期は営業損失6億66百万円）、経常損失5億17百万円（前年同期は経常損失5億23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失16億49百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失7億50百万円）となりました。

なお、当社は国内におけるアルミニウム型材生産部門の全体最適化を目的とし、建材事業とマテリアル事業の型材生産部門を2019年6月1日付でマテリアル事業に集約・再編いたしました。

これにより、当第1四半期連結累計期間より、従来「建材事業」セグメントに含めておりました基幹型材生産工場（射水工場）を、「マテリアル事業」セグメントに報告セグメントの区分を変更しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### **建材事業**

建材事業においては、住宅分野での厳しい競争環境が継続しましたが、ビル分野、エクステリア分野での売上増により、売上高455億33百万円（前年同期比0.0%減）と前年並みになりました。利益については、一部商品の価格改定や収益改善、アルミニウム地金価格の低下などにより、セグメント利益3億62百万円（前年同期はセグメント損失5億68百万円）となりました。

#### **マテリアル事業**

マテリアル事業においては、アルミニウム地金市況に連動する売上の減少に加え、アルミニウム型材市場において一般機械分野の需要減少が継続した影響などにより、売上高102億34百万円（前年同期比10.5%減）となりました。利益については、受注量の減少などにより、セグメント利益3億34百万円（前年同期比27.2%減）となりました。

#### **商業施設事業**

商業施設事業においては、小売業における店舗の新規出店需要が減少したことなどにより、売上高86億66百万円（前年同期比11.2%減）となりました。利益については、売上の減少や物流費などの費用増加により、セグメント損失3億14百万円（前年同期はセグメント損失1億49百万円）となりました。

## 国際事業

国際事業においては、タイでの業績は堅調に推移した一方、欧州における自動車販売台数減少の影響などにより、売上高106億1百万円（前年同期比15.7%減）となりました。利益については、欧州での輸送分野を中心とした売上減少や操業度の悪化などにより、セグメント損失7億75百万円（前年同期はセグメント損失3億78百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1億44百万円増加し、2,625億70百万円となりました。これは、現金及び預金が36億60百万円、受取手形及び売掛金が14億64百万円、それぞれ減少したものの、仕掛品等のたな卸資産が58億20百万円増加したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて20億63百万円増加し、1,824億1百万円となりました。これは、長期借入金が28億86百万円、未払法人税等が9億20百万円、それぞれ減少したものの、短期借入金が42億2百万円、流動負債その他に含まれる前受金が17億7百万円、それぞれ増加したことが主な要因であります。なお、純資産は801億69百万円、自己資本比率は29.4%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月11日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,685	23,025
受取手形及び売掛金	49,348	47,884
電子記録債権	5,225	4,401
有価証券	892	897
商品及び製品	16,555	17,023
仕掛品	17,207	21,135
原材料及び貯蔵品	11,724	13,150
その他	5,623	6,888
貸倒引当金	△1,243	△1,114
流動資産合計	132,021	133,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,568	24,447
土地	54,230	54,206
その他(純額)	24,328	24,149
有形固定資産合計	103,127	102,803
無形固定資産		
のれん	3,457	3,169
その他	3,055	2,908
無形固定資産合計	6,512	6,077
投資その他の資産		
投資有価証券	16,247	15,944
その他	5,125	5,030
貸倒引当金	△609	△577
投資その他の資産合計	20,764	20,397
固定資産合計	130,404	129,278
資産合計	262,426	262,570

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,728	44,505
電子記録債務	18,452	18,380
短期借入金	4,707	8,909
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	7,505
1年内返済予定の長期借入金	12,648	12,337
未払法人税等	1,300	380
賞与引当金	388	2,042
引当金	28	24
その他	19,109	19,988
流動負債合計	101,364	114,074
固定負債		
社債	3,000	3,000
転換社債型新株予約権付社債	7,507	—
長期借入金	42,055	39,169
役員退職慰労引当金	11	11
製品改修引当金	993	879
退職給付に係る負債	17,167	16,979
資産除去債務	451	452
その他	7,787	7,833
固定負債合計	78,973	68,326
負債合計	180,338	182,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	32,828	32,828
利益剰余金	27,062	25,255
自己株式	△236	△238
株主資本合計	74,654	72,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,935	2,100
繰延ヘッジ損益	△430	△594
土地再評価差額金	3,834	3,834
為替換算調整勘定	△486	△684
退職給付に係る調整累計額	△378	△318
その他の包括利益累計額合計	4,472	4,337
非支配株主持分	2,961	2,986
純資産合計	82,087	80,169
負債純資産合計	262,426	262,570

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)
売上高	79,339	75,066
売上原価	63,096	59,182
売上総利益	16,242	15,883
販売費及び一般管理費	16,909	16,320
営業損失(△)	△666	△437
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	150	152
スクラップ売却益	137	172
持分法による投資利益	52	116
その他	279	176
営業外収益合計	627	625
営業外費用		
支払利息	155	120
売上割引	229	217
為替差損	—	176
その他	99	191
営業外費用合計	484	705
経常損失(△)	△523	△517
特別利益		
固定資産売却益	17	12
投資有価証券売却益	14	—
その他	2	—
特別利益合計	34	12
特別損失		
固定資産売却損	9	7
固定資産除却損	47	69
投資有価証券評価損	4	616
特別損失合計	61	692
税金等調整前四半期純損失(△)	△549	△1,197
法人税等	137	417
四半期純損失(△)	△687	△1,615
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	34
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△750	△1,649



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)
四半期純損失(△)	△687	△1,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△214	166
繰延ヘッジ損益	63	△163
為替換算調整勘定	△200	△198
退職給付に係る調整額	202	59
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△0
その他の包括利益合計	△151	△136
四半期包括利益	△839	△1,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△909	△1,784
非支配株主に係る四半期包括利益	69	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	45,538	11,435	9,754	12,578	79,307	32	79,339	—	79,339
セグメント間の内部 売上高又は振替高	812	9,512	84	39	10,449	—	10,449	△10,449	—
計	46,351	20,948	9,839	12,617	89,756	32	89,788	△10,449	79,339
セグメント利益又は 損失(△)	△568	460	△149	△378	△635	25	△610	△55	△666

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△55百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△60百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「国際事業」セグメントにおいて、Thai Metal Aluminium Co., Ltd.の買収時に締結していた株式売買契約に基づく条件付取得対価の支払が確定したことにより、新たにのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの償却額は459百万円、当第1四半期連結会計期間末におけるのれんの未償却残高は903百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	45,533	10,234	8,666	10,601	75,035	30	75,066	—	75,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	933	9,137	17	28	10,117	—	10,117	△10,117	—
計	46,467	19,371	8,684	10,630	85,153	30	85,183	△10,117	75,066
セグメント利益又は 損失(△)	362	334	△314	△775	△392	△32	△425	△12	△437

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、農業分野事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△12百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△15百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は国内におけるアルミニウム形材生産部門の全体最適化を目的とし、建材事業とマテリアル事業の形材生産部門を2019年6月1日付でマテリアル事業に集約・再編いたしました。これにより、従来「建材事業」セグメントに含めておりました基幹形材生産工場(射水工場)を、「マテリアル事業」セグメントに報告セグメントの区分を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。